

旧広島陸軍被服支廠の活用を考える  
ワークショップ  
＜第3回＞

2022年6月11日（土）

# ★ワークショップの概要

---

# ワークショップの内容 (予定)

済

第1回

- ・まず,検討スタート!話してみましよう
- ・被服支廠のことを知りましよう
- ・被服支廠について,参加者の今の考えを集めてみましよう

いろいろな話を聞いて,皆さんでも調べたりして,活用方法を考えていきたいと思います

済

第2回

- ・各種団体や先生など,いろいろな方々の話を聞いてみましよう
- ・活用にあたって,大切にしたい考え方(大きい方針)を話し合ってみましよう

3月26日現地見学

第3回

- ・活用方策のアイデアをいろいろな視点から出してみましよう

本日

第4回

- ・活用の実践に向けた体制などについて,考えてみましよう(案)

すぐできることがあれば,早速やってみるのもいいかも

第5回

- ・懇談会のメンバーとの意見交換など,ワークショップの結果を振り返り,広く発信していましよう

◎検討状況に応じて変更する可能性があります

# 本日のタイムスケジュール

時間	内容	
13:00～13:05(5分)	あいさつ・本日のワークショップの流れ	
13:05～13:20(15分)	意見発表 広島県原爆被害者団体協議会 理事長 佐久間 邦彦 様	
13:20～13:25(5分)		質疑応答
13:25～13:35(10分)	これまでの検討について ・第1回, 第2回ワークショップ, 大規模ワークショップ ・基本的な考え方(懇談会検討結果)	
13:35～13:40(5分)	ワークショップ ワークショップの進め方	
13:40～15:40(120分)		活用のアイデアを出し合おう
15:40～15:55(15分)		活用のアイデアを共有しよう(発表)
15:55～16:00(5分)	講評	
16:00	次回ワークショップについての説明, 閉会	

# ★意見発表

---

旧広島陸軍被服支廠の活用方法

広島県原爆被害者団体協議会 理事長 佐久間 邦彦様

## ★これまでの検討について

---

第1回	ワークショップ	2022.1.30
第2回	ワークショップ	2022.3.13
	大規模ワークショップ	2022.4.17

# 旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【Newsletter Vol.1（2022年2月発行）】

第1回 ワークショップ

日時：2022年1月30日（日）13:00～15:30

場所：Zoomオンライン

参加者：45名

## ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

## ワークショップのスケジュール

### 第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましょう
- ・ 被服支廠のことを知みましょう
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましょう

今回の  
ワークショップ

### 第2～3回

- ・ 各種団体など、いろいろな人の話を聞いてみましょう
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましょう

### 第3～4回

- ・ 活用方策のアイデアを、いろいろな視点から出してみましょう

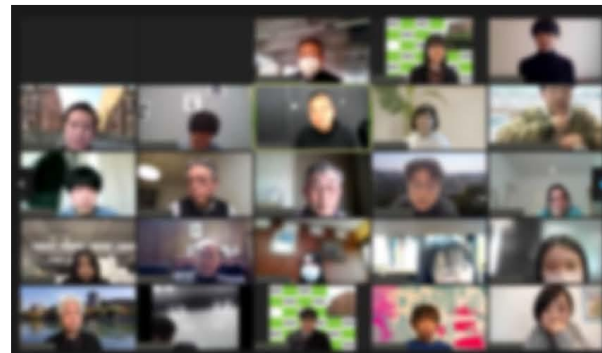
### 第5回

- ・ ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきます

## 今回はこんな内容でした！

### ①Zoomによるワークショップにチャレンジしました！

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面での実施が困難になったため、オンラインにてワークショップを実施しました。



### ②アーキワーク広島 代表 高田さんにご講演いただきました！

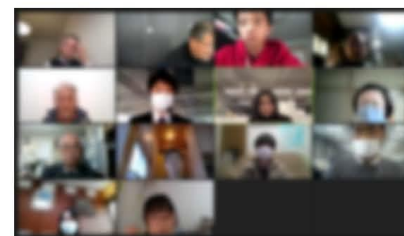
被服支廠とはどんな施設なのか、どんな魅力を秘めているのか、参加者の皆様に知っていただくため、アーキワーク広島の高田さんにご講演いただきました。

1. 被服支廠とは？  
～その歴史経緯～



### ③参加者には自己紹介と、被服支廠に対する思い・アイデアを語っていただきました！

ワークショップでは4つのグループに分かれて、被服支廠の未来を考える仲間として、お互いの理解を深めながら被服支廠について語っていただきました。



# 旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【Newsletter Vol.2（2022年4月発行）】

第2回 ワークショップ

日時：2022年3月13日（日）13:00～15:30

場所：広島県自治会館会議室・Zoomオンライン

参加者：38名

## ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

## ワークショップのスケジュール

### 第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましょう
- ・ 被服支廠のことを知みましょう
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましょう

### 第2～3回

- ・ 各種団体など、いろいろな人の話を聞いてみましょう
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましょう

今回の  
ワークショップ

### 第3～4回

- ・ 活用方策のアイデアを、いろんな視点から出してみましょう

### 第5回

- ・ ワークショップの結果を振り返り、広く発信していきましょう

## 今回はこんな内容でした！

### ①キーパーソンヒアリングとして3名の方にご講演いただきました！

被服支廠活用の考え方について、様々な立場の方のご意見をお伺いするため、NPO法人ひろしまインターネット美術館 積山さん、旧被服支廠の保全を願う懇談会 多賀さん、株式会社JizoHat ポールさんにご講演いただきました。



▲積山さん



▲多賀さん



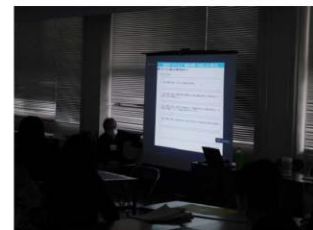
▲ポールさん

### ②参加者の皆様で、被服支廠を活用するうえで「大切にしたい考え方」を話し合いました！

ワークショップは現地・オンラインを併用し、計6つのグループに分かれて実施しました。第1回ワークショップから、場所の持つポテンシャルや皆さんの大切にしたい考え方を抽出した連想マップを使用し、被服支廠活用にあたって、特に大切にしていきたい考え方を話し合いました。



▲ワークショップの様子(現地)



▲成果発表の様子(オンライン)



▲講評



# 旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ

【大規模ワークショップ結果報告（2022年6月発行）】

日時：2022年4月17日（日）14:00～16:00  
場所：広島県健康福祉センター大研修室・Zoom  
オンライン  
参加者：98名

## 大規模ワークショップとは？

被服支廠の利活用に向けた意見やアイデアを幅広く聴取するために実施しました！

旧広島陸軍被服支廠の活用に向けた意見やアイデアを幅広くお聞きすることを目的に実施しました。当日は、現地とオンライン合わせて98名もの方にご参加いただきました。

意見やアイデアを幅広くお聞きする場としては、大規模ワークショップと並行して、ワークショップ（50人規模）を開催しています。

今回の結果は、ワークショップの結果と併せて、被服支廠の活用の方向性の検討に活かしていきます。

## こんな内容でした！

被服支廠の活用にあたって大切にしたい考え方から、具体的な活用アイデアまで、多様な意見をいただきました！

大規模ワークショップは現地・オンラインを併用し、計12のグループに分かれて実施しました。活用にあたっての意見やアイデアを付箋やチャットに書き込んでいただき、ファシリテーター（進行役）が中心となって、意見を取りまとめていきました。

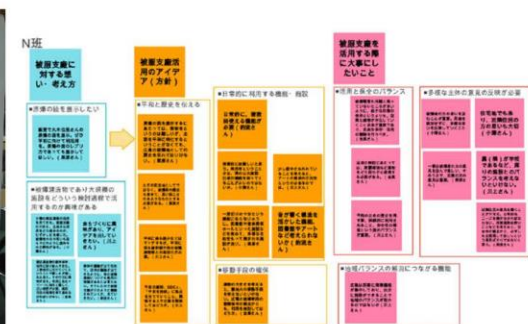
活用にあたって大切にしたい考え方や理念、解決すべき課題、活用の方向性、具体的な活用アイデアまで、多様な意見を出していただきました。



▲大規模ワークショップの様子



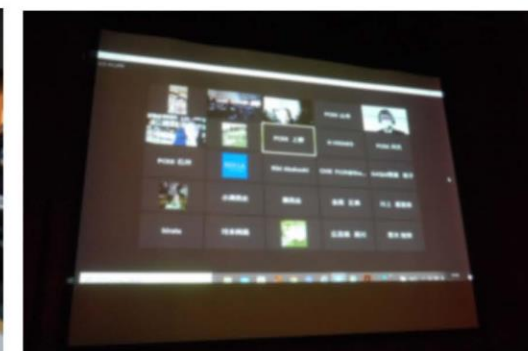
▲ワークシート



▲ワークシート（オンライン）



▲成果発表の様子



▲成果発表の様子（オンライン）

# 被服支廠の活用に関する“基本的な考え方”

ワークショップのご意見を踏まえ、懇談会で議論した結果

---

育てる

**対象とする範囲**  
・4棟（県管理3棟+国管理1棟+その周辺の空地）を対象とする  
⇒被服支廠のもともとの敷地、その周辺、広島市内、広島県内、さらに全国・海外とのつながりも意識

活用し続けるために必要なこと

【木を育てるための水・光・空気・養分】

活用の可能性

【種】

- 県民が集う場**  
日常的に憩い、集える空間として使うことができる
- 学び・発信の場**  
平和・広島（被服支廠）の歴史を学び、継承し、世界に伝えることができる
- 創造の場**  
多様な価値観で創作・表現活動ができる
- おもてなしの場**  
広島を訪れた人をもてなすことができる

<b>変化し続ける</b> 時代の変化に合わせた活用を続けていく	<b>協働で取り組む</b> 官民が手を携えて共に保存・活用を続けていく
<b>支えるひと・体制をつくる</b> 活用方法に応じた多様な主体（行政・団体・民間事業者・個人）の参画、関与の仕組みをつくる	〇〇〇 .....
<b>価値を知ってもらう</b> 被服支廠が県民の宝であることを広く共有していく	〇〇〇 .....



活用によって得られるもの

【果実】

唯一のもの・オリジナルなもの  
県民の誇りを醸成  
・子供達の笑顔、創造的な人材、人と人の繋がりがりなど



守る

将来にわたって変わらないこと ⇒ 「100年後も活かしていく」

- 時代を経て志向やトレンドが変わっても
- ・継承したい
  - ・大切にしていきたい
  - ・みんなで守っていきたい

「被服支廠の価値を継承していく」

「歴史と平和の大切さを伝えていく」

# ★ワークショップ

---

今日は, こんなワークをします!!!

- “基本的な考え方”の“種”にあたる部分のアイデア出し

言い換えると, , ,

(今の時点で考えられる)活用の可能性について具体的な施設内容や場のつくり方を出そう!

- みなさんに出してもらったアイデアを整理します

育てる

今回のワークショップのテーマ

### 活用の可能性

【種】

- 県民が集う場  
日常的に憩い、集える空間として使うことができる
- 学び・発信の場  
平和・広島（被服支廠）の歴史を学び、継承し、世界に伝えることができる
- 創造の場  
多様な価値観で創作・表現活動ができる
- おもてなしの場  
広島を訪れた人をもてなすことができる

活用し続けるために必要なこと

【木を育てるための水・光・空気・養分】

<b>変化し続ける</b> 時代の変化に合わせた活用を続けていく	<b>協働で取り組む</b> 官民が手を携えて共に保存・活用を続けていく
<b>支えるひと・体制をつくる</b> 活用方法に応じた多様な主体（行政・団体・民間事業者・個人）の参画、関与の仕組みをつくる	○○○ ……
<b>価値を知ってもらう</b> 被服支廠が県民の宝であることを広く共有していく	○○○ ……

**対象とする範囲**

- ・ 4棟（県管理3棟+国管理1棟+その周辺の空地）を対象とする
- ⇒被服支廠のもともとの敷地、その周辺、広島市内、広島県内、さらに全国・海外とのつながりも意識

被服支廠 4棟+  
その周辺の空地を活用

活用によって得られるもの  
【果実】

唯一のもの・オリジナルなもの  
県民の誇りを醸成  
・子供達の笑顔、創造的な人材、人と人の繋がりなど



守る

将来にわたって変わらないこと ⇒ 「100年後も活かしていく」

時代を経て志向やトレンドが変わっても

- ・ 継承したい
- ・ 大切にしていきたい
- ・ みんなで守っていきたい

「被服支廠の価値を継承していく」

「歴史と平和の大切さを伝えていく」

## ■ワークショップの進め方（何をする，どうまとめる？）

### ◆考えること

活用案を考える上で，

- 被服支廠そのものの価値（被爆施設，建築的な構造，広大な空間など）を活かす
- 持続可能な施設として使い続ける
- 子どもたち，次世代，世界につなぐ
- これまでに（広島には）なかった活用

などの視点も踏まえながら，具体的にどのような活用を  
したいかを考えてきてください。

記載例）雨の日に子連れのお母さんたちが集える屋内の遊び場  
調べものができるパソコンスペースもある図書館

# ※これまいただいているアイデア（被服支廠の活用の可能性）を参考に（以下は概要）

	1.県民が集う場	2.学び・発信の場	3.創造の場	4.おもてなしの場	5.その他
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に憩い、集える空間として使うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和・広島（被服支廠）の歴史を学び、継承し、世界に伝えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な価値観で創作・表現活動ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島を訪れた人をもてなすことができる</li> </ul>	
活用のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館 (子どもの図書館,中央図書館)</li> <li>● オフィス・コワーキングスペース・起業支援 (シェアオフィス,貸事務所)</li> <li>● 居住スペース (学生寮,グループホーム)</li> <li>● 市民向けの公的施設 (生産者・消費者交流室,発達支援センター)</li> <li>● 防災拠点施設 (避難場所,備蓄倉庫,防災体験館)</li> <li>● 多目的・イベントホール</li> <li>● スポーツ施設 (体育館,eスポーツの施設)</li> <li>● 地域交流施設 (コミュニティ広場,市民農園)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平和資料館 (デジタルアーカイブ,美術館,遺品や被爆資料を展示,文学館)</li> <li>● 歴史資料館 (近代史博物館,広島の歴史展示)</li> <li>● 平和学習施設 (学習施設,平和について考えるコミュニティー会館,戦時の体験,ピースツーリズムの拠点)</li> <li>● 情報発信拠点 (ヒロシマを世界に発信する基地,テレビやラジオ局,YouTubeなどのSNS発信,日本文化の共有)</li> <li>● 自然博物館</li> <li>● 芸術・芸能発信拠点 (神楽を講演,展示・パフォーマンスの場,ミニファッションショー,アートスペース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示場 (音楽の実演,アートの展示)</li> <li>● 文化芸術のイベントの場(絵画大会,プロジェクションマッピング,フリーマーケット)</li> <li>● 文化振興拠点 (アニメーションデジタルの体験,作品が見られる施設,想像力を高めるような滞在型アートセンター)</li> <li>● 学習・研究の場 (フィールドワークやワークショップの拠点,専門学校,ITラボ,研究機関,国連の機関)</li> <li>● 工房・アトリエ (ファブラボ,広島県伝統工芸館,アトリエ,ギャラリー)</li> <li>● 生産拠点 (着物工場, Made in 広島ブランド)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊・温浴施設 (サウナ,スパ,研修所,ホテル,ゲストハウス)</li> <li>● ロケ地利用 (映画やテレビの撮影所,大空間を使って特撮のロケ)</li> <li>● 駐車場整備 (地下駐車場,屋内駐車場,駐輪場)</li> <li>● コンベンション施設 (G7などの主要国首脳会議の開催会場)</li> <li>● 飲食店 (レストラン,フードコート)</li> <li>● 商業施設 (物産市場,ミュージアムショップ,輸入品ショップ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通整備 (シャトルバスを出す,ヒロシマの史跡を自動運転する車で移動,県内の他施設との巡回ルート設置,レンタサイクル設置)</li> <li>● 周辺施設での取り組み (駅や観光スポットでの掲示案内,商店街・比治山公園と被服支廠の連携,宇品・呉・江田島・大久野島などの戦跡クルーズ)</li> </ul>
共通の視点	1.被服支廠そのものの価値（被爆施設、建築的な構造、広大な空間など）を活かす			2.持続可能な施設として使い続ける	
	3.子どもたち、次世代、世界につなぐ			4.これまでに（広島には）なかった活用	



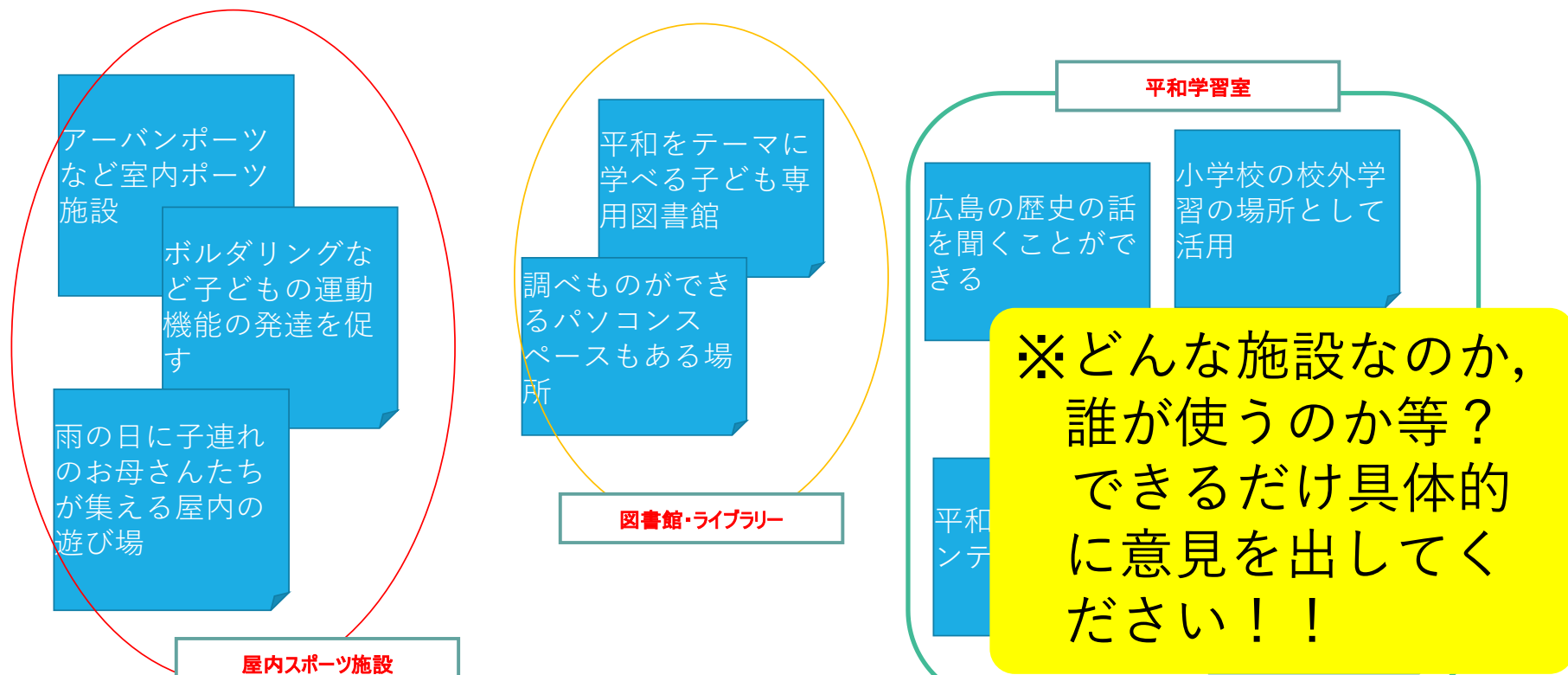
# ◆とりまとめイメージ

第3回ワークショップ 被服支廠の活用（案）

記載例

活用の可能性【種】：県民が集う場

日常的に憩い、集える空間として使うことができる



記載例) 雨の日に子連れのお母さんたちが集える屋内の遊び場  
調べものができるパソコンスペースもある図書館

守る

将来に渡って普遍的な文化

- 時代を経て志向やトレンドが変わっても
- ・継承したい
- ・大切にしていきたい
- ・みんなで守っていきたい

「被服支廠の価値継承」

「歴史と平和の伝承」

# ■今日の意見交換のルール・コツ

①自由な発想大歓迎（いままでの概念を取り払おう！）

②他人のアイデアに便乗して考えよう

③他人の発言を批判しない

**禁句（言ってはいけないこと）**

**実現しない. 空想的だ. くだらない. わかりきっている. コストがかかる. 意味がない. 以前やって失敗した. など**

④一人でしゃべり続けない（大事な時間をみんなで有効に）

⑤ファシリテーター（進行役）・書記に協力を！

縁あって集まった“仲間”！  
みんなでいい話し合いをしましょうね！



## ■ワークショップの進め方（リアル会場）

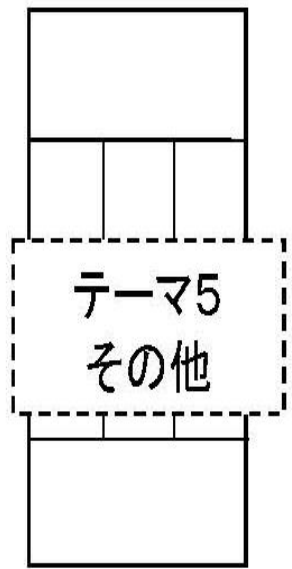
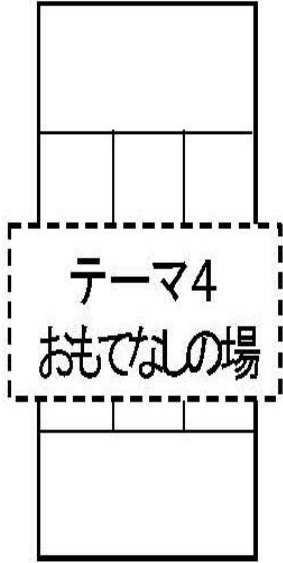
- 活用の可能性のテーマ（4つ＋その他）ごとに  
テーブルを設けます。
- テーブルの話し合いの進行（ファシリテーター）  
は、事務局で行います。
- みなさんは、ご意見を付箋に記入して、発表し  
てください。

# ■テーブル配置

スクリーン

発表・司会席

プロジェクター



- 活用の可能性のテーマ(4つ+その他)のテーブル分かれ、意見を出し合ってください。
- 20分で合図を鳴らします。20分でテーブルを変われば、すべてのテーマを回れます。
- 同じテーマで議論したい場合は、同じテーブルに留まってもらっても構いません。
- 空いているテーブルは意見を言いやすいです。大人の対応でテーブル移動を！

せっかく、集まった仲間です！

お互いを知ることも大事！

- 最初のテーブルでは、名札を使って、自己紹介（簡単に30秒ぐらい）
- テーブルを移動した方も簡単に（アピールや、話のきっかけに）

★話し合いの結果を共有しよう（発表）

---

## ★本日のふりかえり

---



## ★次回ワークショップについて

---

## ■ 自主勉のススメ

### ■ これからもよろしくお願いします！

- みなさんの意見,アイデアを集めて,懇談会などのまとめに活用していきます
- 使う人,運営する人が皆さんになるかもしれません。
- 10年後,50年後にいい形で使われている被服支廠になるように,考えをめぐらせてみてください。
- 自主勉大歓迎です！

## ■ 自主勉のススメ

- コロナもあって、屋外活動は難しいですが、参考となる情報、会議室の提供など、みなさんの“自主勉”に必要な協力をします！

窓口(ワークショップ募集要項と同じです)

■ 広島県 経営戦略審議官 経営企画チーム (担当: 水本, 高川)

TEL: 082-513-2346 Mail: soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp

- 本日の講演など、検討の参考となる情報提供を、随時、県のホームページで公開していきます。

## ■ 次回のワークショップ

- 次回のワークショップは、8月ごろの開催を予定していますが、詳細は未定です。決まり次第ご連絡いたします。

## ★おわりに

---

- アンケートにご協力をお願いします  
(WEB参加の方は, “チャット”にあげたアンケートに)